

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について四国中央市の中学2年生の状況についてお知らせします。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

1学期に学校の体育の時間等に行われる調査である。全ての学年で実施しているが、全国集計されるのは小学5年生、中学2年生だけである。中学生の実技種目は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「持久走」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」の9種目。その他、運動習慣について問う質問紙調査も行われる。※令和2年度は実施していない。

1 体格・実技の状況

【体格】

男子はおおむね全国平均と同じである。肥満度は標準的である。

女子はおおむね全国平均と同じである。肥満度は標準的である。

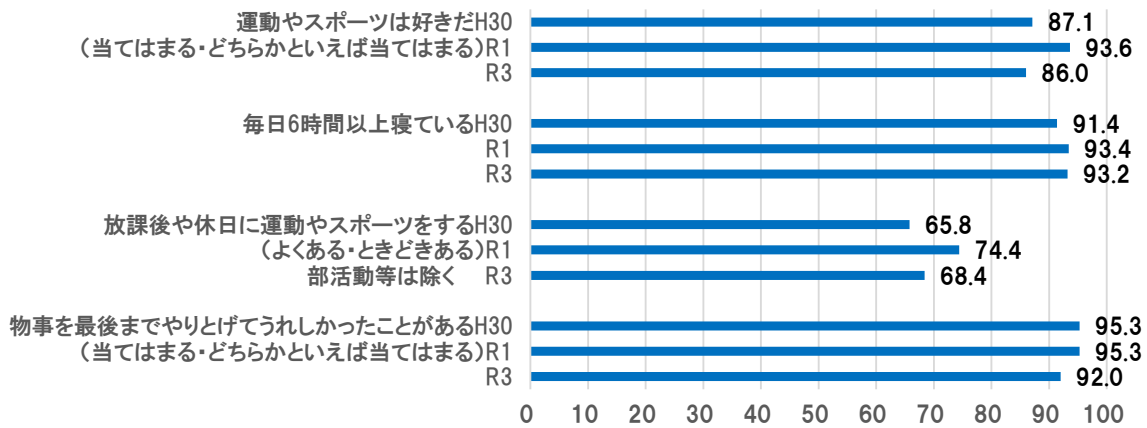
【実技】

男子は3種目で全国平均を上回っている。特に持久走、20mシャトルランは大きく上回っている。上体起こし、長座体前屈がやや全国平均を下回り、柔軟性に課題がある。

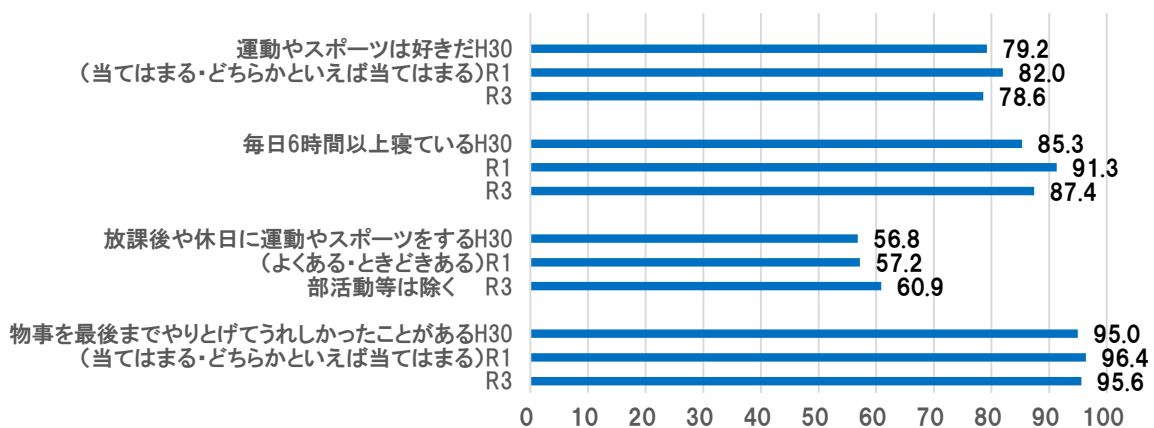
女子は6種目で全国平均を上回っている。特に持久走、20mシャトルランは大きく上回っている。上体起こし、長座体前屈がやや全国平均を下回り、柔軟性に課題がある。

2 生徒質問紙より

中学校(中2男子)



中学校(中2女子)



【質問紙】

男子は、4項目とも令和元年度よりやや減少しているがおおむね良い状況にある。「運動が好きだ」と答えた児生徒は減少しているが、全国平均を上回っている。

女子は、3項目で令和元年度よりやや減少しているがおおむね良い状況にある。家での運動量に課題があるようである。「運動が好きだ」と答えた児生徒はやや減少しているが、全国平均を上回っている。

【全体的な分析】

男女ともに、体格、体力がおおむね標準的である。男女ともに持久走、20mシャトルランは良い結果であった。運動に対する意欲を伸ばす中で体力アップを図りたい。以前からの課題であった「投げる」については改善が進み、女子では全国平均をやや上回った。男女ともに柔軟性はまだ改善の余地があるので取り組みを継続していきたい。

睡眠時間や、家での運動習慣等について、家庭でも良い習慣づけができるようにご協力いただけるとありがたい。

各校では各校のデータに基づいて「体力アップ推進計画」を作成して、それぞれの課題に合った取り組みを進めている。